

MASAO OKABE

# 岡部 昌生

FUKUSHIMA

プロジェクト  
フォロワー  
ジュ  
成果展

入場無料

## 福島

会期 / 2015年

10月17日(土) ⇒ 10月30日(金)

観覧時間：10:00~17:00 会期中無休

会場 / 県庁南再エネビル3F (福島県福島市荒町4-7)

\*お車でお越しの方は、近隣の駐車場をご利用ください。

被爆70年祈念連携プロジェクト  
岡部昌生「被爆樹に触れて」参加企画

主催：はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会  
協力：飯館電力株式会社

木の記憶・被曝つづける樹 (大熊町 2015.6.17)

# MASAO OKABE

美術家・岡部昌生は、フロッタージュ（対象に紙を当てその上から鉛筆、チョークなどで凹凸を擦り取る技法）によって長年国内外の各地に残る歴史の痕跡を擦り取る活動を続けています。美術家の立場から歴史に真摯に向き合う活動は高い評価を得ており、2007年には第52回ヴェネチアビエンナーレの日本代表を務めました。東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故後の福島で始まったはま・なか・あいつ文化連携プロジェクト岡部昌生フロッタージュプロジェクトは、南相馬市の津波の痕跡をフロッタージュで記録する活動から始まり、被災地の土地の記憶に遡る活動を展開してきました。活動を通して次第に浮き上がってきた震災の記憶、歴史の断片、今なお課題を抱える原発事故の被害。これらを作品に刻み続けてきたプロジェクトの成果のうち、昨年度から取り組んでいる飯館村、大熊町の樹木の膚のフロッタージュ作品を中心にをご紹介します。文明がもたらした災禍の罪深さ、湧き起こる自然への敬意。作品からみなさんは何を感じられるでしょうか。多くの方と感じ、考える場としたいと思います。ぜひお出かけください。



木の記憶・被曝つづける樹（大熊町 2015.6.17）

## 岡部昌生フロッタージュプロジェクト成果展 | 福島



木の記憶・被曝つづける樹（飯館村 2015.6.20）



木の記憶 切り倒されたご神木（飯館村草野 2015.6.20）

# FUKUSHIMA

### トークセッション

## 「被曝樹／被爆樹」

出演：岡部昌生（美術家）×川延安直（福島県立博物館専門学芸員）

10月18日(日) 14:00~16:00

会場：県庁南再エネビル3F 申込不要・入場無料

岡部昌生 [Okabe Masao] 北海道出身。美術家。都市に内在する不可視の記憶や歴史の痕跡を写し取るため、1977年よりフロッタージュ（擦り出し）の手法を用いて表現を始める。1980年代後半より広島原発の痕跡を作品化するプロジェクトを開始し、2007年のヴェネチア・ビエンナーレにおいて結実。現在も継続的に広島や福島といった都市に関わり続けている。人々とのコラボレーションやワークショップも積極的に実施するほか、国内外の各都市で制作・展覧会活動を展開している。

川延安直 [Kawanobe Yasunao] 福島県立博物館専門学芸員。専門は美術史。主な担当企画展に「古い 老いをめぐる美とカタチ」（2005年）、「岡本太郎の博物館・はじめる視点～博物館から覚醒するアーティストたち～」(2009年)。東日本大震災後は、文化による復興支援を目的に福島県内で複数のアートプロジェクトを企画。運営に携わっている。



■会場のお問合せ  
飯館電力株式会社  
〒960-8042 福島市荒町4-7 県庁南再エネビル2F  
TEL:024-572-6006  
公共の交通機関、周辺駐車場をご利用下さい。

■事業のお問合せ  
はま・なか・あいつ文化連携プロジェクト実行委員会事務局  
〒965-0807 会津若松市城東町1-25（福島県立博物館内）  
TEL:0242-28-6067（事務局直通）もしくはTEL:0242-28-6000（福島県立博物館代表）  
FAX:0242-28-5986（福島県立博物館内） \*毎週月曜日、祝日の翌日は休業

はま・なか・あいつ文化連携プロジェクトとは…福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO等との連携により2012年から実施しているアートプロジェクト。はま（福島県の太平洋側）、なか（東北新幹線、東北自動車道が貫く福島県の中央部）、あいつ（新潟県に隣接する福島県の山間部）で展開する活動を通して、福島の文化・歴史・自然の豊かさを再発見すること、福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出すことを目的としています。2015年度は、8つのプロジェクトを実施。詳しくはこちら → [hamanakaaizu.jp](http://hamanakaaizu.jp)